



第3回
国際フォーラム

激動する世界情勢！ 日本の針路を問う

ウクライナ戦争の長期化や中東情勢の緊迫化、さらに米中覇権争いの激化によって、世界は歴史的な転換期を迎えています。国際秩序が大きく揺らぐ今、日本はいかなる国家戦略を描くべきでしょうか。第3回国際フォーラムでは、元陸将補・矢野義昭氏をゲストとしてお迎えし、激変する世界情勢を読み解きながら、日本の進むべき針路について考えます。

7/20 月13:00
祝 - 16:00

(開場12:00)

文京シビックセンター4F
シルバーホール

主なプログラム

参加費
1,000円

〈基調講演〉

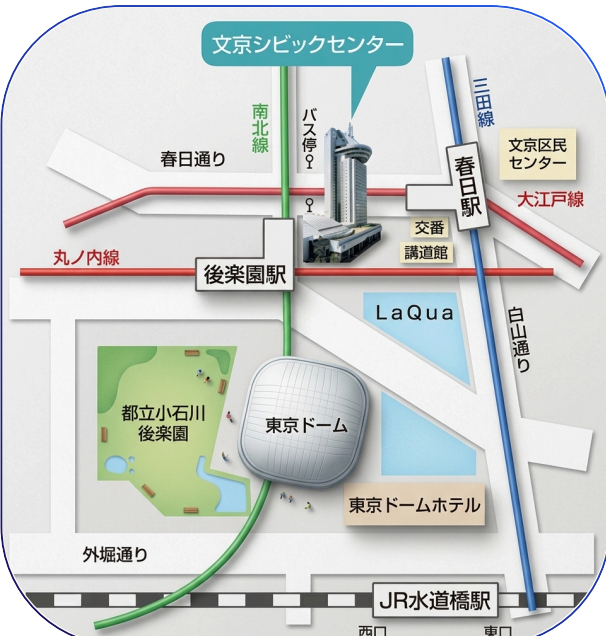
- ・ 矢野義昭氏(日本安全保障フォーラム会長)
- ・ 里村英一(政務調査会長)

〈パネルディスカッションパネリスト〉

- ・ 矢野義昭氏
- ・ 里村英一
- ・ 王戴氏(民主中国陣線副主席)

モデレーター 畠山元太郎(広報本部長補佐)

会場アクセス 東京都文京区春日1-16-21



SPECIAL GUEST



矢野義昭

元陸将補。同昭和49(1974)年4月に久留米陸上自衛隊幹部候補生学校に入校後、普通科(歩兵)幹部として勤務。美幌第6普通科連隊長兼美幌駐屯地司令、兵庫地方連絡部長(現兵庫地方連絡本部長)、第一師団副師団長兼練馬駐屯地司令、小平学校副校長(陸将補)を歴任。核・ミサイル問題、対テロ、情報戦などについて在職間から研究。拓殖大学客員教授、日本経済大学大学院特任教授、岐阜女子大学客員教授。著書『核の脅威と無防備国家日本』(光人社)、『日本はすでに北朝鮮核ミサイル200基の射程下にある』(光人社)、『あるべき日本の国防体制』(内外出版)、『日本の領土があぶない』(ぎょうせい)、他論文多数。



王戴(おうたい)

「民主中国陣線」副主席。1989年天安門事件で学生運動に身を投じる。同年7月に日本に渡り、中国共産党一党独裁に反対する中国民主化組織「民主中国陣線」に参加。現在、同団体のメンバー5000人以上が世界で活動している。



里村英一

幸福実現党政務調査会長。大手テレビ局宣伝部勤務を経て、幸福の科学の専務理事、局長などを歴任。月刊『ザ・リパティ』元編集長、ネット情報番組『ザ・ファクト』コメンテーター。

〈文京シビックセンターまでの交通案内〉

- 後楽園駅(東京メトロ)
丸ノ内線 4a・5番出口 南北線 5番出口…[徒歩1分]
- 春日駅(都営地下鉄)
三田線・大江戸線 文京シビックセンター連絡口…[徒歩1分]
- 水道橋駅(JR)
中央・総武線 東口…[徒歩9分]

※お座席が限られているため、満席になり次第、お申込みを締め切らせて頂きます。あらかじめご了承ください。

【申し込み方法】
QRコードからお申込みください



共催 幸福実現党 (佐々木：080-3026-1940)
民主中国陣線 (王 戴：090-8340-2388)